

飛騨市の地域学校協働活動について

1. 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域（ここでの地域とは、飛騨市内における各校区内のことを指す。）の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行うさまざまな活動、もしくは、地域と学校が目標を共有し、地域全体で子どもたちの成長を支え、誰もが豊かに生きる地域づくりを進めるさまざまな活動のことである。活動は多岐にわたって関係者の合意形成により、授業内外、学校内外で行うことができる。

2. 地域学校協働本部とは

1 地域学校協働本部（以下「本部」という。）とは

多くの幅広い地域住民や団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより地域学校協働活動を推進する体制のことで、地域学校協働活動推進員を中心としたメンバーで構成される。地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の連携・協働を推進することを前提とし、①コーディネート機能、②より多くの地域住民等の参画による地域学校協働活動の実施、③地域学校協働活動の継続的・安定的実施の3要素が必須となる。

2 本部の活動について

推進員が中心となって、学校と綿密に連携や情報共有を行いながら、それぞれの校区に合った活動を行う。本部内においても、推進員間や本部の各メンバーとの連絡・情報共有はしっかりと行ったうえで活動する。活動の進め方については、別紙フロー図を参考に進めるとよい。

3. 地域学校協働活動推進員とは

地域学校協働活動推進員（以下「推進員」という。）とは教育委員会の施策に協力して、地域住民等と学校との間の情報の共有を図るとともに、地域学校協働活動を行う地域住民等に対する助言その他の援助を行うものである。役割としては、次にあげることの他、多岐にわたったものが考えられる。

- ・地域住民や団体、企業等の関係者と学校との連絡調整、情報の共有
- ・地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画、調整、運営
- ・地域住民への呼びかけ
- ・地域ボランティアの募集、確保
- ・地域住民への情報提供、助言、活動促進

- 活動を進めるにあたっては、本部内で話し合いを行い、全体が理解をしたうえで行うことが望ましい。
- 本部はあくまでも組織体であるため、推進員を含むメンバーと連携を密に行い活動を進めていく必要がある。

学校から依頼が
あった時

依頼受



本部(推進員)
内共有・協議



学校
提案・協議



実施

本部で企画する時

企画発案



本部(推進員)
内共有・協議



学校
提案・共有



実施

他本部・団体等から
依頼があった時

協力依頼受



本部(推進員)
内共有・協議

OK



学校
提案・共有



企画協力

NG



お断り